

令和4年度 江津市立青陵中学校「生徒・保護者・職員アンケート（学校評価）」結果

| | | アンケート結果（昨年との比較資料） | | | | 分析と次年度への展望 | | |
|---------|-----|---|-------|--------|-------|------------|--|---|
| 全般 ① | 12 | 「12」青陵中はよい学校になってきた | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆昨年度と同様高い肯定率を維持している。 【次年度に向けて】今後とも生徒と共によりよい学校づくりに取り組んでいく。全校生徒が「誰もが誇れる学校」を実感できるような具体的な取り組みを重ねていく。</p> |
| | 生徒 | 97.7% | 2.3% | 96.6% | 3.4% | | | |
| | 保護者 | 88.1% | 11.9% | 88.2% | 11.8% | | | |
| | 教職員 | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 全般 ② | 13 | 「13」「チーム青陵」ということを意識して生活した | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 職員A → <総合評価>A ◆職員、生徒ともに肯定率は高く、生徒の肯定率は昨年度より上昇した。 【次年度に向けて】体育祭における全校パフォーマンスで全校生徒が一体となって取り組んだことが、今回の結果に繋がっているように考える。今後も生徒が一体感を味わえるような取り組みを、生徒の声を聞きながら、生徒主導の取り組みを実施していく。</p> |
| | 生徒 | 93.6% | 6.4% | 90.3% | 9.7% | | | |
| | 保護者 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | 教職員 | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 志 ① | 3 | 「1」目標や夢を持って生活しようとした | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 職員A → <総合評価>A ◆保護者、職員共に昨年度の肯定率を下回った。特に、保護者は大幅に低下した。 【次年度に向けて】生徒が将来の目標を持ち、目標に向かって学校生活を充実させていくことのできるようキャリア教育を核とした具体的な取り組みを実施していく。</p> |
| | 生徒 | 96.0% | 4.0% | 96.0% | 4.0% | | | |
| | 保護者 | 74.0% | 26.0% | 89.5% | 10.5% | | | |
| | 教職員 | 88.2% | 11.8% | 95.5% | 4.5% | | | |
| 志 ② | 6 | 「2」自分からすすんで学習に取り組もうとした | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 職員A → <総合評価>A ◆生徒、保護者、職員共に昨年度の肯定率を上回っているが、保護者の肯定率は依然として目標を下回っている。 【次年度に向けて】キャリア教育の充実や学習における具体的な目標をもてるようにする。放課後学習や課題の提示方法の工夫など生徒が自主的に目標に向かって学習に取り組めるような手立てを行っていく。</p> |
| | 生徒 | 93.0% | 7.0% | 85.7% | 14.3% | | | |
| | 保護者 | 70.1% | 29.9% | 65.2% | 34.8% | | | |
| | 教職員 | 82.4% | 17.6% | 66.7% | 33.3% | | | |
| 志 ③ | 3 | 「3」友だちと一緒に考えたり協力したりし、自分の学習しようとした | 肯定的 | 否定的 | 肯定的 | 否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 職員A → <総合評価>A ◆職員の肯定率は昨年度に比べ上昇しているが、生徒の肯定率は大幅に下がっている。 【次年度に向けて】教職員は継続的に授業改善に取り組んでいるが、進度との兼ね合いで、対話的かつ探究的な学習に時間をかけて取り組めなかった面がある。そこが、生徒の肯定率の低下に繋がっていると考える。よって今後は、対話的かつ探究的な授業実践に一層力を入れて取り組む。</p> |
| | 生徒 | 83.7% | 16.3% | 94.3% | 5.7% | | | |
| | 保護者 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | | | |
| | 教職員 | 94.1% | 5.9% | 90.5% | 9.5% | | | |
| 朗 ① | 4 | 「4」明るく元気に生活できた | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆職員の肯定率は高いが、生徒、保護者の肯定率は昨年度より下がっている。 【次年度に向けて】和③に関連して、人間関係等で思い悩んだ生徒がおり、そのことが今回の結果に繋がっていると考える。今後は「人権教育」や「道徳教育」の充実を図り、開発的かつ予防的な支援に力を入れて取り組んでいく。</p> |
| | 生徒 | 93.0% | 7.0% | 98.3% | 1.7% | | | |
| | 保護者 | 88.1% | 11.9% | 93.8% | 6.2% | | | |
| | 教職員 | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 朗 ② | 5 | 「5」親や先生、友だちの意見や考え、アドバイスを聞こうとした | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆職員は高い肯定率を維持しているが、生徒、保護者の肯定率は若干下がっている。 【次年度に向けて】「人権教育」や「道徳教育」の充実を始め、日常では対話的な授業実践の推進に努めていく。また、教育相談や放課後や昼休みに生徒の質問などを受け付ける時間を定期的に設けることで、生徒と対話する時間を増やしていく。</p> |
| | 生徒 | 94.8% | 5.2% | 96.6% | 3.4% | | | |
| | 保護者 | 91.5% | 8.5% | 91.9% | 8.1% | | | |
| | 教職員 | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 朗 ③ | 6 | 「6」礼儀やマナーを守って人と接した | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 職員A → <総合評価>A ◆職員の肯定率は上昇し、目標値に達したが、生徒、保護者の肯定率は昨年度より下がり、保護者の肯定率は目標値を下回った。 【次年度に向けて】今後「み（身だしなみを整える）・そ（排除に真剣に取り組む）・あ（挨拶をきちんとする）・じ（時間を守る）」の徹底を生徒と連携し、継続して取り組んでいく。また、地域での過ごし方にも注視し、地域活動への生徒参加を積極的に促すことで、地域で過ごす生徒の様子を知る機会を増やす。</p> |
| | 生徒 | 93.6% | 6.4% | 97.7% | 2.3% | | | |
| | 保護者 | 79.1% | 20.9% | 84.5% | 15.5% | | | |
| | 教職員 | 88.2% | 11.8% | 72.7% | 27.3% | | | |
| 朗 ④ | 7 | 「7」交通ルールや校則を守って生活した | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆生徒、職員は高い肯定率を維持している。保護者の肯定率も昨年度に比べ上昇した。 【次年度に向けて】「年度当初や学期末に生徒指導主事や各担任から『生活のこころえ』を確認する機会を増やす。」「下校指導を徹底する。」「生徒会活動で問題提起・改善案を考える。」「ビデオ視聴などの違反者講習会を開く。」「PTA家庭教育部の活動を通じて保護者と連携する。」などの具体的に目に見える支援の機会を増やしていく。</p> |
| | 生徒 | 97.1% | 2.9% | 98.9% | 1.1% | | | |
| | 保護者 | 92.7% | 7.3% | 90.7% | 9.3% | | | |
| | 教職員 | 100.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 創 ① | 8 | 「8」いろいろな人の話を聞くことを通して自分の価値観について考えた | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 職員B → <総合評価>B ◆生徒の肯定率は少し下がり、職員の肯定率は大幅に下がった。保護者の肯定率とともに目標値を大きく下回った。 【次年度に向けて】昨年に比べ、外部の方のお話を聞く機会が多くなったが、生徒が将来のことに繋げていくような手立てができなかった。受け身的な講演会等に参加するのではなく、もっと主体的に講師の方と関わりながらお話を聴くような工夫した取り組みを行う。</p> |
| | 生徒 | 86.6% | 13.4% | 92.6% | 7.4% | | | |
| | 保護者 | 50.3% | 49.7% | 47.8% | 52.2% | | | |
| | 教職員 | 58.8% | 41.2% | 81.0% | 19.0% | | | |
| 和 ① | 9 | 「9」学級や学年の考えや話をきくと聞こうとした | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者B 職員A → <総合評価>A ◆生徒、保護者の肯定率は少し上昇しているが、職員の肯定率は下がっている。 【次年度に向けて】和③や朗②での取り組みと同様に、「人権教育」や「道徳教育」の充実を始め、日常では対話的な授業実践の推進に努めていく。また、学級での話し合い活動の充実を目指し、意識的に話し合いの場を設定する。さらには、その様子が保護者にも伝わるよう、学級だよりや学年だよりなどを活用する。</p> |
| | 生徒 | 97.7% | 2.3% | 97.1% | 2.9% | | | |
| | 保護者 | 76.3% | 23.7% | 73.3% | 26.7% | | | |
| | 教職員 | 94.1% | 5.9% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 和 ② | 10 | 「10」学級や学年、部活動などの仲間とはお話しし合おうとした | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆生徒、保護者は高い肯定率であるが、職員の肯定率は昨年度に比べ大幅に低下した。 【次年度に向けて】朗①で述べていることが職員の肯定率低下の要因である。「人権教育」や「道徳教育」を基盤に据え、開発的かつ予防的な指導に力を入れて取り組んでいく。体育祭や文化祭などの学校行事を通して、連帯感や一体感が生まれるような取り組みを工夫していく。</p> |
| | 生徒 | 97.1% | 2.9% | 97.7% | 2.3% | | | |
| | 保護者 | 94.4% | 5.6% | 92.5% | 7.5% | | | |
| | 教職員 | 88.2% | 11.8% | 100.0% | 0.0% | | | |
| 和 ③ | 11 | 「11」あなただけじゃ出来ないけど、みんなが力を合わせれば出来るよ、と励まされて頑張ることがあった | R4肯定的 | R4否定的 | R3肯定的 | R3否定的 | | <p>【評価目標】肯定的評価80%以上 生徒A 保護者A 職員A → <総合評価>A ◆生徒、保護者、職員ともに目標値を上回っているが、肯定率はいずれも昨年度より低下している。 【次年度に向けて】朗③朗④で述べているように「人権教育」や「道徳教育」に力を入れ、教育相談やいじめアンケート等を活用し、教職員が「絶対にいじめは許さない」という姿勢で取り組んでいく。また、いじめに繋がるような事象に対して、早期に対応できるよう職員の人権感覚を磨くため、積極的に研修に参加したり、生徒に関する情報共有を常時行う。</p> |
| | 生徒 | 94.8% | 5.2% | 98.9% | 1.1% | | | |
| | 保護者 | 81.4% | 18.6% | 83.2% | 16.8% | | | |
| | 教職員 | 88.2% | 11.8% | 95.2% | 4.8% | | | |